新型コロナワクチンを接種される方へ

新型コロナワクチン接種を受けるにあたり、副反応や接種後の留意点について確認し、ご理解・ご協力をお願いします。

【副反応等について】

1) まれに接種直後に副反応が起きることがあるため、接種後 15 分程度は必ず接種会場内で待機してください。

※過去にアナフィラキシー（薬や食物が体に入ってから、短時間で起こるアレルギー反応）を含む重いアレルギー症状を起こしたことがある方や、採血等で気分が悪くなったり、失神等を起こしたことがある方は、30 分程待機してください。

2) 接種後(特に接種直後～数日間)は以下の体調に注意してください。

起こるかもしれない重い症状

ショック、アナフィラキシー症状
ワクチン接種直後から、時には5分以内、通常30分以内に以下の症状が現れた場合、ショック、アナフィラキシーの疑いがあります。

- ☐ 皮膚症状：皮膚のかゆみ、蕁麻疹、紅斑、皮膚の発赤など
- ☐ 消化器症状：腹痛、吐き気など
- ☐ 視覚症状：視覚の異常
- ☐ 呼吸器症状：声のかすれ、くしゃみ、のどのかゆみ、息苦しさなど
- ☐ ショック症状：蒼白、意識混濁など

↓

速やかに医師の診察を受ける。

起こるかもしれない軽い症状

- ☐ 注射した部位の痛み、腫れ
- ☐ 下痢
- ☐ 筋肉や関節の痛み
- ☐ 頭痛
- ☐ 疲労、寒気、発熱

↓

解熱鎮痛薬（市販を含む）を服用しても症状が改善しない、あるいは増強するような場合は「ワクチン接種後の副反応に関する問合せ先」に問い合わせる。

秋田大学医学部附属病院　感染制御部

3） ワクチン接種に対する緊張や強い痛みをきっかけに、血管迷走神経反射（立ちくらみがしたり、血の気が引くような症状）が起こることがあります。以前に症状が出現したことがある方は事前にお声がけください。

【接種当日の留意点】

1 注射した部位は清潔に保ち、揉まないこと。

2 接種当日の入浴は差支えないが、注射した部分はこすらないこと。

3 当日の激しい運動は控えること。

【接種後の留意点】

ワクチン接種後も基本的な感染予防策(マスク着用、密集、密接及び密閉の回避、手洗いや咳エチケット等)の継続をお願いします。

■ワクチン接種後の副反応に関する問合わせ先

平　日：地域医療患者支援センター（日中）
　　Tel018-884-6283
平　日：秋田大学保健管理センター（13:00－17:00）
　　Tel:018-889-2955
緊急時：秋田大学医学部付属病院　高度救急救命センター
　　Tel:018-884-6301

秋田大学医学部附属病院　感染制御部

新型コロナワクチン予防接種についての説明書
（追加（オミクロン株対応２価ワクチン）接種用）

モデルナ社
２価ワクチン用
（BA.1）
（2022 年9月）

新型コロナウイルスワクチン接種について

本ワクチンの接種は国と地方自治体による新型コロナウイルス（SARS-CoV-2）ワクチン接種事業の一環として行われます。本ワクチンの接種は公費対象となり、希望者は無料で接種可能です。なお、本ワクチンの接種は、これまで２回以上新型コロナウイルスワクチンの接種を受けた 18 歳以上の方が対象です。

ワクチンの効果と投与方法

今回接種するワクチンは、モデルナ社製のオミクロン株対応２価ワクチン（従来株（起源株）／オミクロン株 BA.1）です。新型コロナウイルス感染症の重症化予防、感染予防、発症予防を目的として接種します。

18 歳以上の者を対象に実施された臨床試験において、本ワクチンの接種から 28 日後の中和抗体価は、従来の単価ワクチン（起源株）の追加接種に比べて同等以上であることが確認されたこと等から、一定の発症・重症化予防効果が期待できるとされています。

販売名	スパイクバックス™筋注（２価：起源株／オミクロン株 BA.1）
効能・効果	SARS-CoV-2 による感染症の予防
接種回数・間隔	１回（前回の接種が完了してから一定の間隔が経過した後）　※筋肉内に接種
接種対象	２回以上の接種を受けた 18 歳以上の者
接種量	１回 0.5 mL を１回

- 予防接種法に基づく追加（オミクロン株対応２価ワクチン）接種までの間隔は、前回接種の完了から５か月以上となっています（2022 年 9 月 14 日時点）。接種間隔の短縮について検討し、10 月下旬までに結論を得る予定です。
- 前回までの接種に用いたワクチンの種類にかかわらず、本ワクチンの接種が可能です。本ワクチンは、１・２回目の接種には使えません。
- 本ワクチンの接種を受けても、発症等を完全に予防できるわけではありません。ワクチン接種にかかわらず、引き続き、適切な感染防止策を行う必要があります。

予防接種を受けることができない人

下記にあてはまる方は本ワクチンを接種できません。該当すると思われる場合、必ず接種前の診察時に医師へ伝えてください。

- 明らかに発熱している人（※1）
- 重い急性疾患にかかっている人
- 本ワクチンの成分に対し重度の過敏症（※2）の既往歴のある人
- 上記以外で、予防接種を受けることが不適当な状態にある人

（※1）明らかな発熱とは通常 37.5℃以上を指します。ただし、37.5℃を下回る場合も平時の体温に鑑みて発熱と判断される場合はこの限りではありません。

（※2）アナフィラキシーや、全身性の皮膚・粘膜症状、喘鳴、呼吸困難、頻脈、血圧低下等、アナフィラキシーを疑わせる複数の症状。前回までの接種でこれらの症状が認められた人は、同一の成分を含むワクチンを用いた追加接種を受けることはできません。

予防接種を受けるに当たり注意が必要な人

下記にあてはまる方は本ワクチンの接種について、注意が必要です。該当すると思われる場合は、必ず接種前の診察時に医師へ伝えてください。

- 抗凝固療法を受けている人、血小板減少症または凝固障害のある人
- 過去に免疫不全の診断を受けた人、近親者に先天性免疫不全症の方がいる人
- 心臓、腎臓、肝臓、血液疾患や発育障害などの基礎疾患のある人
- 過去に予防接種を受けて、接種後 2 日以内に発熱や全身性の発疹などのアレルギーが疑われる症状がでた人
- 過去にけいれんを起こしたことがある人
- 本ワクチンの成分に対して、アレルギーが起こるおそれがある人

妊娠中又は妊娠している可能性がある人、授乳されている人は、接種前の診察時に必ず医師へ伝えてください。ただし、かかりつけの産婦人科医に確認していない場合でも、予診医によりワクチン接種が可能と判断された場合は、接種が可能です。

過去に、薬剤で過敏症やアレルギーを起こしたことのある人は、接種前の診察時に必ず医師へ伝えてください。

（うらへ続く）

接種を受けた後の注意点

- 本ワクチンの接種を受けた後、15 分以上（過去にアナフィラキシーを含む重いアレルギー症状を起こしたことがある方や、気分が悪くなったり、失神等を起こしたりしたことがある方は 30 分以上）、接種を受けた施設でお待ちいただき、体調に異常を感じた場合には、速やかに医師へ連絡してください。(急に起こる副反応に対応できます。)
- 注射した部分は清潔に保つようにし、接種当日の入浴は問題ありませんが、注射した部分はこすらないようにしてください。また、接種後に体調が悪い時は無理をせず、入浴は控える等、様子を見るようにしてください。
- 通常の生活は問題ありませんが、激しい運動や過度の飲酒等は控えてください。

副反応について

- 主な副反応は、注射した部分の痛み、頭痛、関節や筋肉の痛み、疲労、寒気、発熱等があります。また、稀に起こる重大な副反応として、ショックやアナフィラキシーがあります。なお、本ワクチンは、新しい種類のワクチンのため、これまでに明らかになっていない症状が出る可能性があります。接種後に気になる症状を認めた場合は、接種医あるいはかかりつけ医に相談してください。
- ごく稀ではあるものの、ワクチン接種後に心筋炎や心膜炎を疑う事例が報告されています。接種後数日以内に胸の痛みや動悸、息切れ、むくみ等の症状が現れたら、速やかに医療機関を受診してください。
- ごく稀ではあるものの、mRNA ワクチン接種後にギラン・バレー症候群が報告されています。接種後、手足の力が入りにくい、しびれ等の症状が現れたら、速やかに医療機関を受診してください。

予防接種健康被害救済制度について

予防接種では健康被害（病気になったり障害が残ったりすること）が起こることがあります。極めて稀ではあるものの、なくすことができないことから、救済制度が設けられています。

新型コロナワクチンの予防接種によって健康被害が生じた場合にも、予防接種法に基づく救済（医療費・障害年金等の給付）が受けられます。申請に必要となる手続きなどについては、住民票がある市町村にご相談ください。

新型コロナウイルス感染症について

SARS-CoV-2 による感染症が発症すると、熱や咳など風邪によく似た症状がみられます。軽症のまま治癒する人も多い一方、重症化すると、呼吸困難などの肺炎の症状が悪化し、死に至る場合もあります。

今回接種する新型コロナウイルスワクチン（モデルナ社製のオミクロン株対応２価ワクチン（BA.1））の特徴

本剤はメッセンジャーRNA（mRNA）ワクチンであり、SARS-CoV-2（従来型（起源株）とオミクロン株 BA.1）のスパイクタンパク質（ウイルスがヒトの細胞へ侵入するために必要なタンパク質）の設計図となる mRNA を脂質の膜に包んだ製剤です。本剤接種により mRNA がヒトの細胞内に取り込まれると、この mRNA を基に細胞内でウイルスのスパイクタンパク質が産生され、スパイクタンパク質に対する中和抗体産生及び細胞性免疫応答が誘導されることで、SARS-CoV-2 による感染症の予防ができると考えられています。

本剤には、下記の成分が含まれています。

有効成分	✧ エラソメラン（従来型（起源株）のスパイクタンパク質の全長体をコードする mRNA） ✧ イムエラソメラン（オミクロン株 BA.1 のスパイクタンパク質の全長体をコードする mRNA）
添加物	✧ SM-102：ヘプタデカン-9-イル 8-((2-ヒドロキシエチル)(6-オキソ-6-(ウンデシルオキシ)ヘキシル)アミノ)オクタン酸エステル ✧ コレステロール ✧ DSPC：1,2-ジステアロイル-*sn*-グリセロ-3-ホスホコリン ✧ 1,2-ジミリストイル-*rac*-グリセロ-3-メチルポリオキシエチレン（PEG2000-DMG） ✧ トロメタモール ✧ トロメタモール塩酸塩 ✧ 氷酢酸 ✧ 酢酸ナトリウム水和物 ✧ 精製白糖

新型コロナワクチンの詳しい情報については、厚生労働省のホームページをご覧ください。

厚労　コロナ　ワクチン　検索

ホームページをご覧になれない場合は、お住まいの市町村等にご相談ください。

ひと、くらし、みらいのために
厚生労働省
Ministry of Health, Labour and Welfare

2022年9月

ファイザー社 または モデルナ社

オミクロン株対応2価ワクチン接種を受けた方へ

〈 新型コロナワクチンを受けた後の注意点 〉

ワクチンを受けた後は

15分以上は接種会場で座って様子をみてください。※

お待ちの間も、感染対策をお願いします。

（ マスクをする、隣の人と距離をとる、会話を控えるなど ）

※過去にアナフィラキシーを含む、重いアレルギー症状を起こしたことがある方や、採血等で気分が悪くなったり、失神等を起こしたことがある方は、30分ほどお待ちください。

接種日当日

●接種後、すぐに現れる可能性のある症状について

アナフィラキシー	・薬や食物が体に入ってから、短時間で起こることのあるアレルギー反応です。 ・じんま疹などの皮膚症状、腹痛や嘔吐などの消化器症状、息苦しさなどの呼吸器症状が、急に起こります。血圧低下や意識レベルの低下（呼びかけに反応しない）を伴う場合をアナフィラキシーショックと呼びます。 ・起こることは極めてまれですが、接種後にもしアナフィラキシーが起こっても、すぐに対応が可能なよう、ワクチンの接種会場や医療機関では、医薬品などの準備をしています。
血管迷走神経反射	・ワクチン接種に対する緊張や、強い痛みをきっかけに、立ちくらみがしたり、血の気が引いて時に気を失うことがあります。 ・誰にでも起こる可能性がある体の反応で、通常、横になって休めば自然に回復します。 ・倒れてケガをしないように、背もたれのある椅子に座って様子をみてください。

ワクチンを受けた日の注意点

○通常の生活は問題ありませんが、激しい運動や過度の飲酒等は控えてください。
○接種部位は清潔に保ちましょう。接種当日の入浴は問題ありませんが、注射した部分は強くこすらないようにしましょう。

～数日

●接種後、数日以内に現れる可能性のある症状について

□接種後7日間に現れた症状

発現割合	症状	
	ファイザー社	モデルナ社
50%以上	注射部位疼痛	注射部位疼痛、疲労
10～50%	疲労、筋肉痛、頭痛、悪寒、関節痛	頭痛、筋肉痛、関節痛、リンパ節症、悪寒、悪心・嘔吐
1～10%	下痢、発赤、腫脹、発熱、嘔吐	紅斑・発赤、腫脹・硬結、発熱

出典：特例承認に係る報告書より改編

・接種直後よりも翌日に痛みを感じている方が多いです。
・これらの症状の大部分は、接種後数日以内に回復しています。

●これまで、接種実績のある従来型ワクチンにおいては、接種後に、ごくまれですが、心筋炎や心膜炎を発症した例が報告されています。

・報告されているものでは、若い方、特に男性において、接種後数日以内に発症する例が多い傾向が見られます。
・ワクチンを受けた後、数日以内に、胸痛、動悸、息切れ・むくみ等の症状があれば、すぐに医療機関を受診し、ワクチンを受けたことを伝えてください。
・心筋炎と診断された場合には、一般的には入院が必要となりますが、多くは安静によって自然回復するとされています。

ファイザー社 または モデルナ社

◎新型コロナワクチンに関する相談先

ワクチン接種後に、体に異常があるとき	➡ ワクチンを受けた医療機関やかかりつけ医、市町村や都道府県の窓口
ワクチン接種全般に関するお問い合わせ	➡ 市町村の窓口

◎予防接種健康被害救済制度について

予防接種では健康被害（病気になったり障害が残ったりすること）が起こることがあります。極めてまれではあるものの、なくすことはできないことから、救済制度が設けられています。

新型コロナワクチンの予防接種によって健康被害が生じた場合にも、予防接種法に基づく救済（医療費・障害年金の給付など）が受けられます。

申請に必要となる手続きなどについては、住民票がある市町村にご相談ください。

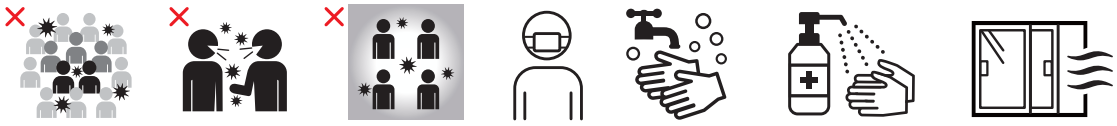
◎ワクチンを受けた後も、マスクの着用など、感染予防対策の継続をお願いします。

新型コロナワクチンは、新型コロナウイルス感染症の発症を予防する高い効果が確認されていますが、その効果は100%ではありません。また、ウイルスの変異による影響もあります。

このため、皆さまに感染予防対策を継続していただくようお願いします。

具体的には、「3つの密（密集・密接・密閉）」の回避、マスクの着用、石けんによる手洗いや手指消毒用アルコールによる消毒の励行などをお願いします。

感染予防対策を継続していただくようお願いします。



（※）屋外では、人と会話をするとき以外は、熱中症を防ぐためにもマスクを外しましょう。

新型コロナワクチンの詳しい情報については、厚生労働省のホームページをご覧ください。

厚労 コロナ ワクチン　検 索

ホームページをご覧になれない場合は、お住まいの市町村等にご相談ください。